

# 試験報告書

依頼者 株式会社 発明工房

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 US-20/40型

表題 浸出試験

2024 年 04 月 19 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

## 浸出試験

### 1 依頼者

株式会社 発明工房

### 2 検体

US-20/40型

### 3 試験概要

検体についてJIS S 3200-7 : 2010「水道用器具-浸出性能試験方法」により、カドミウム及びその化合物等の浸出試験を行った。

### 4 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 浸出試験結果

項目	結果	定量下限
カドミウム及びその化合物	検出せず	0.0001 mg/L
水銀及びその化合物	検出せず	0.00005 mg/L
セレン及びその化合物	検出せず	0.001 mg/L
鉛及びその化合物	検出せず	0.001 mg/L
ひ素及びその化合物	検出せず	0.001 mg/L
六価クロム化合物	検出せず	0.002 mg/L
亜鉛及びその化合物	検出せず	0.01 mg/L
鉄及びその化合物	検出せず	0.03 mg/L
銅及びその化合物	検出せず	0.01 mg/L
マンガン及びその化合物	検出せず	0.005 mg/L
有機物[全有機炭素(TOC)の量]	検出せず	0.3 mg/L
味	異常なし	***
臭気	異常なし	***
色度	0.5度以下	0.5度
濁度	0.05度以下	0.05度

区分：末端給水用具

## 5 試験方法

### 1) 浸出操作

検体を給水栓に取り付け、依頼者指定のろ過流量で水道水(東京都多摩市)を1時間通水した後、検体滞水量の3倍の精製水を通水した。次に、同量の浸出液(pH7.0±0.1, 硬度45±5 mg/L, アルカリ度35±5 mg/L, 残留塩素0.3±0.1 mg/L)を通水して止水し、加熱沸騰殺菌再生処理を実施した。1時間後に自動排水されたことを確認した後、再び検体滞水量の浸出液を通水して止水した。約23℃で16時間静置後に浸出液を再通水し、初流水8 Lを採水して試料液とした。また、浸出液を同条件で静置し、空試験液とした。

なお、依頼者指定により、コンディショニング操作は省略した。

### 2) 測定方法

測定方法を表-2に示した。

表-2 測定方法

項目	測定方法
カドミウム及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
水銀及びその化合物	還元気化-原子吸光光度法
セレン及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
鉛及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
ひ素及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
六価クロム化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
亜鉛及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
鉄及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
銅及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
マンガン及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
有機物[全有機炭素(TOC)の量]	全有機炭素計測法
味	官能法
臭気	官能法
色度	透過光測定法
濁度	積分球式光電光度法

以 上